



平成20年2月21日

各 位

共同コンピュ - タホ - ルディングス株式会社

代表者 代表取締役社長

吉 村 昭 一

(JASDAQ ・ コド 9 6 8 5)

問い合わせ先 専務取締役

相 原 能 文

(電話 : 0776-34-3512)

平成20年3月期通期(連結)業績予想の修正

及び平成20年3月期通期(単独)業績見込みと前年同期との差異に関するお知らせ

平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想について、平成19年11月22日付当社「平成20年3月期中間決算短信(連結)」にて発表いたしました連結業績予想を下記のとおり修正いたします。また、平成20年3月期通期(単独)の業績見込について、前年同期と比較して差異が生じることを認識しましたので併せて下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成20年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	3,800	210	220	160
今回修正 (B)	3,800	210	220	330
増減額 (B - A)	0	0	0	170
増減率	- %	- %	- %	106.3%

(2) 修正の理由

当社は、本日別途発表いたしました「米国子会社の解散及び清算に関するお知らせ」に記載のとおり米国子会社(100%子会社)を翌事業年度中に清算することを決議いたしました。それに伴い、従来はスケジューリングが明らかでないということで除外しておりました海外投資(子会社株式含む)に係る投資損失について、スケジューリングされたことにより新たに繰延税金資産を計上する予定であります。その結果、法人税等調整額が1億7千万円減額されることにより当期純利益が1億7千万円計上される見込みであります。

なお、子会社の投資に係る将来減算一時差異については、原則として、親会社において、繰延税金資産を計上しないことになっておりますが「連結財務諸表における税効果会計に関する実務指針第32項」に基づき、連結決算上も繰延税金資産を計上するものであります。

(3) ご参考：前期の実績(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
通 期 (4/1～3/31)	3,780	194	146

2. 平成20年3月期単独業績見込みと前年同期との差異

(1) 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 期 実 績 (A)	130	5	4	11
当期業績見込み (B)	130	5	4	435
増 減 額 (B - A)	0	0	0	446
増 減 率	- %	—	—	—

(2) 差異が生じる理由

平成19年11月22日付「平成20年3月期中間(単独)業績の差異に関するお知らせ」にて発表した特別利益(抱合せ株式消滅差益)に2億7千7百万円が計上されたことに加えて、米国子会社(KYCOM OF AMERICA, LTD.)の清算に伴い、従来はスケジューリングが明らかでないということで除外しておりました海外投資(子会社株式含む)に係る投資損失について、スケジューリングされたことにより新たに繰延税金資産を計上する予定であります。その結果、法人税等調整額が1億7千万円減額されることにより当期純利益が1億7千万円計上される見込みであります。

以 上

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料発表時現在の入手可能な情報に基づいた判断及び仮定を前提とした見通しであります。多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。